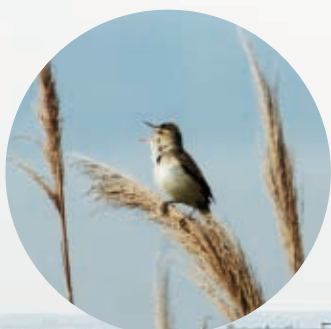




議会だより



ヨシキリの領地は葦原。夏の間、ヨシキリは恋と子育てに大忙し。葦の茎にかけた巣のまわりで鳴きたてる声が風のまにまに聞えてくる。(霞ヶ浦湖畔)

目次

Contents.

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 3月定例会提出議案 | 2～3 page |
| 2. 委員会の活動 | 4～6 page |
| 3. 一般質問・議員活動 | 7～11 page |
| 4. 施政方針に対する質問 | 12～13 page |
| 5. コラム | 14 page |

平成21年 第1回定例会



平成21年第1回定例会が、3月3日から3月24日までの22日間の会期で開催されました。今定例会では、平成20年度各会計補正予算、平成21年度各会計当初予算、条例の制定及び一部改正などについて、各所管の常任委員会へそれぞれ付託して審査を行ったほか、4日、5日、6日の3日間において一般質問(後頁p7~11)が行われました。

今定例会に上程された議案等は次のとおりです。

議案第3号

かすみがうら市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特例措置に関する条例の制定について

〔可決〕

議案第4号

かすみがうら市地域活性化推進基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

〔可決〕

議案第5号

かすみがうら市一般旅券発給事務証紙等購買基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

〔可決〕

議案第6号

かすみがうら市介護従事者処遇改善臨時特例基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

〔可決〕

議案第7号

かすみがうら市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第8号

かすみがうら市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第9号

かすみがうら市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第10号

かすみがうら市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第11号

かすみがうら市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第12号

かすみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第13号

かすみがうら市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第14号

かすみがうら市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第15号

かすみがうら市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔可決〕

議案第16号

かすみがうら市霞ヶ浦庁舎建設審議会条例を廃止する条例の制定について

〔可決〕

議案第17号

かすみがうら市立保育所整備審議会条例を廃止する条例の制定について

〔可決〕

議案第18号

平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算(第5号)

〔可決〕

議案第19号

平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算(第6号)

〔可決〕

3月定例会提出議案



▲開通した市道の2644号線
(深谷大和田バイパス)

議案第20号

平成20年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

【可決】

議案第21号

平成20年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

【可決】

議案第22号

平成20年度かすみがうら市下水道事業特別会計補正予算(第3号)

【可決】

議案第23号

平成20年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

【可決】

議案第24号

平成20年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算(第3号)

【可決】

議案第25号

平成21年度かすみがうら市一般会計予算

【可決】

議案第26号

平成21年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算

【可決】

議案第27号

平成21年度かすみがうら市老人保健特別会計予算

【可決】

議案第28号

平成21年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算

【可決】

議案第29号

平成21年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算

【可決】

議案第30号

平成21年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算

【可決】

議案第31号

平成21年度かすみがうら市介

護保険特別会計予算

【可決】

議案第32号

平成21年度かすみがうら市水道事業会計予算

【可決】

議案第33号

市道路線の廃止について

【可決】

議案第34号

平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算(第7号)

【可決】

選挙第3号

茨城県後期高齢者医療広域連合会議員一般選挙

和田 正美 議員 **当選**

選挙第4号

土浦石岡地方社会教育センター
一部事務組合議会議員の補欠選挙

藤井 裕一 議員 **当選**

推薦第1号

農業委員会委員の推薦 推薦

仲澤 源夫(加茂)

栗山 千勝(柏崎)

櫻井 政男(中志筑)

鈴木 良道(下土田)

諮問第1号から諮問第3号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

【答申】

発議第1号

市長の専決処分事項の制定について

【可決】

議長発議

閉会中の継続審査について

【決定】

今年の2月に、議会だより編集委員会が、新たな委員でスタートいたしました。

これまでも広報活動については努力してまいりましたが、高齢社会に対応すべく、これを機会として、『より読みやすく、より親しみやすい議会だより』を目指し、編集を見直しました。

市民の皆様が、議会により関心を持ち、わかりやすく読んでもらえる広報誌として、できるだけ簡潔に、議会の内容や議員活動を、ご報告いたしたいと考えておりますので、ご理解賜りますよう、よろしくお願いたします。

議会だより編集委員会

総務委員会

委員会付託案件の審査 (3月9日、11日開催)

【付託案件】

- かすみがうら市地域活性化推進基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- かすみがうら市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市霞ヶ浦庁舎建設審議会条例を廃止する条例の制定について
- 平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第6号)
- 平成21年度かすみがうら市一般会計予算

【審査内容】

Q：市債の自然再生地球温暖化対策事業について、平成21年度の事業は。

A：低公害車の購入経費に充当する内容で、450万円を計上しています。

Q：地域振興グループ等育成補助の内容は。

A：地域の特性を生かした住民の自主的な地域活動の取り組みの促進に資するため、地域づくり活動を積極的かつ主体的に行うグループに補助として支援するもので、限度額は20万円となっております。

Q：コミュニティバス運行事業費補助金について、利用者が少ない状況で、事業内容の見直しはないのか。

A：コミュニティバスを導入した経過は、両地区を結ぶ交通機関がない、さらには公共施設へ人を運ぶ手段がない、それらを解消するために始まったものであります。経費的には大きな負担になってはいますが、現時点では千代田地区と霞ヶ浦地区の交流、交通手段のない方の利便性を図るために運行を継続しています。

事業費及び内容について、平成21年度から地域全体の交通計画を大きく見直すということで考えております。

Q：統計調査事業の統計調査員は、どのように選んでいるのか。

A：統計調査員は登録制となっております。毎年各自治会にお願いをし、推薦をいただいた方を登録しており、現在、207名です。



閉会中に行われた委員会

(3月30日、5月8日開催)

【調査項目】

- 入札制度について
- 霞ヶ浦庁舎建設の進捗状況について
- コミュニティバス運行見直しについて



▲霞ヶ浦庁舎建設地

文教厚生委員会

委員会付託案件の審査 (3月9日、11日、12日開催)

【付託案件】

- かすみがうら市一般旅券発給事務証紙等購買基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- かすみがうら市介護従事者処遇改善臨時特例基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
- かすみがうら市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市立保育所整備審議会条例を廃止する条例の制定について
- 平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第6号)
- 平成20年度かすみがうら市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)
- 平成20年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)
- 平成20年度かすみがうら市介護保険特別会計補正予算 (第3号)
- 平成21年度かすみがうら市一般会計予算
- 平成21年度かすみがうら市国民健康保険特別会計予算
- 平成21年度かすみがうら市老人保健特別会計予算
- 平成21年度かすみがうら市後期高齢者医療特別会計予算
- 平成21年度かすみがうら市介護保険特別会計予算



▲安飾小学校校舎の現地調査

【現地調査】

- 安飾小学校校舎及び下稲吉小学校校舎

【審査内容】

Q：福祉タクシー利用料金助成事業の減額した理由は。

A：実績等に基づき予算計上しており、福祉タクシー助成金については現在の制度で対応してまいります。利用について、前年度対象者には通知をいたし、新規対象者については広報誌やチラシ等で周知徹底を図りたいと思います。

Q：保育所の21年度入所予定者の状況について、また、待機児童の状況は。

A：4月からの入所者数は第一保育所76名、やまゆり保育所151名、さくら保育所208名、わかぐり保育所126名、のぞみ保育園115名、霞ヶ浦保育園115名、みなみ保育園74名、管外の保育者44名で合計914名となっております。保育所入所に関しては、第1希望～第3希望を出してもらい入所の判断をいたします。待機児童についてはゼロです。

Q：古い校舎の場合、建替えの方法が長期的には費用として合理的なのか、耐震補強だけの方法が合理的なのか等の結果が、今回の診断で出るのか伺う。

A：今回の耐震診断については、現在の建物が壁や柱によって耐震力がどの位あるのかの診断になります。建替えた場合と耐震補強した場合との比較は出ません。平成21年度で対象となる学校の診断が終わりますので、それから内部で協議していくことになります。

Q：霞ヶ浦公民館運営事業の映画フィルム借上げについて伺う。

A：あじさい館の視聴覚室において、子どもからお年寄りまで楽しめるもの、話題性のあるものを選び、年2回～3回映画上映を行っています。広報誌を基本にチラシ、ポスターを作成し、公共施設のほか小学校・保育所等において周知を行っています。

閉会中に行われた委員会

(5月8日開催)

【調査項目】

- 教育施設、文化施設、体育施設および福祉・保健施設に関する事項
- 文教厚生委員会の委員会研修に関する事項

産業建設委員会

委員会付託案件の審査 (3月11日、12日、19日開催)

【付託案件】

- かすみがうら市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特例措置に関する条例の制定について
- かすみがうら市自転車駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- かすみがうら市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 平成20年度かすみがうら市一般会計補正予算 (第6号)
- 平成20年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)
- 平成21年度かすみがうら市一般会計予算
- 平成21年度かすみがうら市下水道事業特別会計予算
- 平成21年度かすみがうら市農業集落排水事業特別会計予算
- 平成21年度かすみがうら市水道事業会計予算
- 市道路線の廃止について

【現地調査】

- かすみがうら市田伏 廃道路線 (市道㊦5239号線)



▲廃道路線の現地調査

【審査内容】

Q：自転車駐車場の駐車料について伺う。

A：駐車駐輪場を設置する時に、民間の駐車駐輪場の料金を圧迫しないということで始まった制度です。土浦市神立駅西口駐輪場においては、一般2,250円、学生は2割引の2,040円で契約しております。土浦市より若干不便ということで、一般2,200円、学生1,900円の料金設定をいたしました。

Q：プレミアム付き商品券について伺う。

A：商工会及び関係機関と協議を行い、額面1,000円の商品券10枚、500円の商品券2枚、抽選券1枚をセットにしたものを10,000円で販売する予定で考え、10%のプレミアムが付く形となっています。使用可能な協力店については、今後募集いたします。市内どこでも使えるよう、農産物直売所、水産加工品店、観光関係、飲食店等でも使える様に考えております。発行枚数1万7千セットを予定し、7月頃から12月までと考えております。周知に関しては、チラシ、新聞折込、広報誌、インターネット等計画しています。

Q：農業振興に力を入れるというのが、事業費予算が少ないのでは。

A：予算化はしてありませんが、農業の担い手を対象とし有識者や農業の方を中心として、今後、会議を持ちながら農業政策に力を入れる考えです。遊休農地対策事業については、3ヘクタールを見込み補助金1,345,000円を計上しております。今後、遊休農地対策協議会として組織を作り、国で事業費の50%、市から25%の助成を支援していきます。

閉会中に行われた委員会 (1月19日、2月19日、4月3日、24日開催)

【調査項目】

- 下水道整備について
 - ・ 下水道事業の再評価について
 - ・ 下水道施設の維持管理について
- 環境衛生及び公害に関する事項
 - ・ 大平地区残土の経過について
 - ・ つくばファーム悪臭問題について
- 道路整備について
 - ・ 道路関係の予算状況について
 - ・ 道路整備及び維持について
- 水道事業業務・工務に関する事項
 - ・ 水道事業について
- 都市・市街地整備に関する事項

一般質問



▲あじさい館

Q かすみがうら市議会事務局の決裁について回答がない。必要かどうか伺う。

A 議長 平成19年4月の通知文の議長の決裁に関しましては、議会運営委員会の決定に従い、別途、文書により回答しております。文書でお答えしたとおり必要ないと考えております。

Q 議長に一般質問の取下げを要望された。議会運営委員会で一般質問の内容について審議されるのか。

A 議長 議長に対する一般質問の取下げ要望については、基本的な考え方について回答申し上げます。

A 議長 議長に対する一般質問の基本的な考え方として、一般質問の取り扱い等、基本的な事項を調査・審査するとあります。

A 議会事務局長 一般質問については、市政に対する質問であって、一方、国政・県政、さらには他人の私生活に亘る言論等が規制されているところで

す。こういうことを含め、一般質問の質疑、内容ということではなく、質問の時間等や回数も種々検討、調整する必要があるということとです。実態として、県では一般質問の検討場所として議会運営委員会が定められております。これらを踏まえ、本市においても議会運営委員会を検討することが適切であるというところで考えております。

質問事項

1. 都市計画について
2. 要望、陳情の対応について
3. 公共工事の施行管理は事業課を設置してはどうか
4. かすみがうら市議会事務局の決裁について
5. 補助金法令の見直し等について
6. 常任委員会への職員出席要求について
7. 有永光の開発と寄付について
8. 職員、特別職等の人事について
9. 霞ヶ浦庁舎建設後のあじさい館の利用について
10. 廃止する保育所について
11. 大型養鶏場からの悪臭対策について

【他3件】

栗山 千勝 議員

Q 一般質問の取り扱いについては

A 議会運営委員会において検討・調整する



▲指定金融機関の出張窓口がある庁舎内の出納室

Q 地域への信用供与度を実態として把握して各金融機関を格付け査定し、主たる公金取扱い金融機関を決めるべきではないか。

A 市長 公金を取扱う指定金融機関の場合、相当な額が集まり、その一部は地域や企業からの預金と同様に運用され利益につながると思います。この運用益を地域の人々や企業へ預金利息や融資資金として還元されるべきで、金融機関においては、地域へ円滑に金融機能・サービス

Q 当市の公金取扱い金融機関の法定担保責務の現況について伺う。

A 議会事務局長 議員がうら市指定金融機関事務取扱契約書に基づき、額面5百万円の政府保証公営企業債権を担保として預かっております。

A 会計管理者 かすみがうら市指定金融機関事務取扱契約書に基づき、額面5百万円の政府保証公営企業債権を担保として預かっております。

リスク管理については、公金を金融機関に預金して保管しておりますが、最も安全、確実かつ有利な方法で保管しなければならぬことになっておりますので、預入額の元本が保証され、預入に伴う運用益が出るように管理運用しております。

質問事項

1. 公金仕訳が金融業の自己資金比率として利益還元となる認識と地域貢献のバランスについて
2. 当市の公金取扱い金融機関の法定担保責務の現状について

古橋 智樹 議員

Q 公金取扱いの指定金融機関による地域貢献度の見定めは運用益は地域の人々や企業へ利息や融資として還元されるべき

Q 地域への信用供与度を実態として把握して各金融機関を格付け査定し、主たる公金取扱い金融機関を決めるべきではないか。

A 市長 公金を取扱う指定金融機関の場合、相当な額が集まり、その一部は地域や企業からの預金と同様に運用され利益につながると思います。この運用益を地域の人々や企業へ預金利息や融資資金として還元されるべきで、金融機関においては、地域へ円滑に金融機能・サービス

A 会計管理者 かすみがうら市指定金融機関事務取扱契約書に基づき、額面5百万円の政府保証公営企業債権を担保として預かっております。

圓城寺正道 議員



▲耕作放棄地

Q 耕作放棄地の再生利用については

A 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業を活用し取り組む

Q 耕作放棄地の再生利用について、原油・肥料等になる作物の選定の考えは。

A 市長 新たな作付けの選定については、原油等の原料となる作物の作付け・普及などが地球温暖化対策や地球環境にやさしいエコ社会の形成を図る上でも重要視されており、国の施策である「耕作放棄地等再生利用緊急対策交付金」は、協議会等が事業主体となり、国で事業費の50%、市から25

Q 市長公用車、議長公用車について、一般公用車と同等扱いに出来ない理由は。

A 総務部長 現在の市長公用車については、月額20万

%の助成をし、障害物の除去や土壌改良を行い再生を図るものです。市の予算においては、国からの事業に応じた交付金に市の事業補助を合わせ対象農地を3畝と見込み、遊休農地対策事業補助金134万5千円を計上しております。

4、645円でリース契約をしており、21年6月で契約が満了となります。再リースしますと月額7万7、175円となりますが、経済性や環境対策も考慮し、新規リースによる車種の選定等も考えたいと思います。議長公用車についても、昨年6月に2年間の再リースをし、負担軽減を図ったところです。リース満了時に市長公用車同様検討してまいりたいと考えております。

中根 光男 議員



▶ペットボトルキャップ回収

Q 高齢化社会に対応した地域コミュニティの形成についての対策は

A 身近なところから支援できる体制づくりを検討したい

Q 「農地改革プラン」の内容、今後の取り組みについて伺う。

A 農業委員会事務局長 改革プランの一点目は、農業生産・経営の基礎的な資源である農地の確保という観点から、農地転用規則の厳格化・農用地区域内農地の一層の確保を図る措置を講ずること。二点目は、賃借を通じた農地の有効利用を図るための施策を講じる。「所有」に拘ることなく適切な利用を図

られるよう基本を再構築したと。三点目は、農地税制の見直しを検討する内容です。

農地制度については、農業委員会が重要な役割を果たしていることを認識し、関係機関と連携の上、農業者等に広く周知してまいります。

Q 高齢化社会に対応した地域コミュニティの形成について、現況と課題、今後の対応策は。

A 保健福祉部長 近年、都市化が進み価値観が多様化す

る中で、地域における連帯感が希薄化し相互扶助の機能が低下し、地域で支えあうことが少なくなっている現状にあります。今後、高齢者が住み慣れた地域において安心して生活が送れるよう、民生委員やボランティア、地域住民などの強力により、身近なところから支援できる体制づくりを検討したいと思います。

質問事項

1. 小中学校のいじめについて
2. 農地改革プランについて
3. インフルエンザ予防接種助成について
4. 改正国民健康保険法について
5. ペットボトルキャップの回収事業について
6. 高齢化社会に対応した地域コミュニティの形成について

質問事項

1. 耕作放棄地の再生利用について
2. 遊休農地対策について
3. 新市建設計画事業計画の見直しについて
4. 市長公用車・議長公用車の廃止について
5. 行政改革について



▲身近なみどり推進事業（雪入地内）

Q 地域の特徴を活かした「産業活性化」の推進に関し、新年度の具体的な方針について伺う。

A 市長 「地域活性化の鍵を握る施策」は新しい視点に立った農業再生であります。市民生活の向上と地域活性化を主眼に、農業の復興を掲げ再生元年と位置づけ取り組んで生きたいと考えます。「循環型農業の推進」「遊休農地の利活用」「都市部住民と農業関係団体の連携」「農産品のブランド化推進」

Q 産業界の活性化の推進に関し、新年度における具体的な方針は5つの基本方針の下に様々な事業を展開していくとマーケティングの強化「農業の基盤づくりと新たな担い手の育成」の5つの方針を柱に、本市農業の再生を図ってまいります。

Q 森林湖沼環境税について、市での使途を伺う。

A 環境経済部長 「身近なみどり推進事業」は100%県補助であり、今年度は9・5ヘクタールの森林の間伐や草刈りを実施しており、水源の涵養や温暖化防止の効果が期待されます。

Q 5つの基本方針の下に様々な事業を展開していくとマーケティングの強化「農業の基盤づくりと新たな担い手の育成」の5つの方針を柱に、本市農業の再生を図ってまいります。

A 土木部長 「下水道接続支援事業」は、供用開始後3年以内の接続に関して、市が行う補助事業に一定額の上乗せ補助を行うものです。「高度処理型合併浄化槽設置に伴う助成事業」については、昨年と比較して5人槽で約20万円が増額されており、1月末までに事業完了した24人の申請者に1,739万3千円の助成を行いました。

質問事項

1. 新年度における坪井市長の重点施策について
2. 国の施策である「地域活性化、生活対策臨時交付金」の活用策について
3. 荒廃地を活用したモデル事業の推進について
森林湖沼環境税について

石井 幸雄 議員



▲放課後児童クラブ

古川 誠一 議員

Q 雇用支援対策についての取り組みは

A 市内の企業動向や雇用ニーズに応じ、効果的な事業を検討する

Q 市では緊急雇用対策本部を設置したが、支援対策の取組みについて伺う。

A 市長公室長 緊急雇用については、市の各種業務における需要度等について検討をしたうえ期間限定で臨時職員の募集を実施いたしました。2名を採用、残り2名枠には応募がない状況です。今後、県の相談窓口やハローワークなど関係機関との連携を密にして取り組んでいく必要があります。

Q 国の雇用関係の交付金については、平成23年度までの期間で6,438万円の配分予定額が提示されています。今後より効果的な事業を検討し、雇用機会の創出に向け取り組んでまいります。

Q 霞ヶ浦新庁舎活用方針と効率的な事務処理システムの構築について伺う。

A 総務部長 庁舎内に設置予定の市民ギャラリーについては、展示機能を有したスペースを確保しております。

また、敷地東側に市民交流広場を設け、市民の交流や活動が出来る環境づくりを関係機関と協議し推進してまいります。効率的な事務システムについては、窓口申請、各種申請や届出、諸証明の発行、税金の申告などにも拡大することにより、市民サービスの向上、経費の節減が図られるよう考えます。さらに事務改善の積極的な見直しを行い、効率化を図ってまいります。

質問事項

1. 雇用支援対策について
2. 霞ヶ浦新庁舎活用方針と効率的な事務処理システムの構築について
3. 市民総健康づくり運動による医療費抑制策について
4. あじさい館への医療系施設による指定管理者導入について
5. 霞ヶ浦に対する、かすみがうら市の地先権が以前の公文書より減っていることに対するの出訴権行使の有無について
6. 霞ヶ浦の面積割の基準財政需要額1,713万円の使途について
7. 放課後子どもプランの推進と人材の活用について
8. 霞ヶ浦地区保育所の廃止に伴う跡地利用について

加固

豊治 議員



▲わかさぎ人工孵化

Q 霞ヶ浦の象徴である「わかさぎ」の支援策は

A 市の特産品、地域ブランドとして推奨していく

Q 霞ヶ浦の象徴である「わかさぎ」増殖に向けた支援策について伺う。

Q 水道事業の今後の整備方針と会計見通しについて伺う。

備計画に沿って進めます。

A 市長 わかさぎ孵化放流事業については、今後も引き続き支援を行いながら、市の特産品として、また地域ブランドとして推奨してまいります。さらに、「帆引き船とわかさぎ漁」については、保存伝承を図るための支援を行うとともに、観光イベント等を通じ更なるイメージアップを図っていききたいと考

A 水道事務所長 平成20年度「水道事業全体整備計画」の策定業務を委託し、基本方針の策定、基本事項の決定、整備内容の検討、千代田地区配水管路調査を実施いたします。本計画書に合わせ、水道事業の年次計画を立て、配水管の敷設替え等資本投資をいたします。両地区の一体的な管理運営は、全体整

平成20年度決算見込みは、収支とも厳しい状況にあります。今後に見通しについては、給水収益で、平成24年度から神立工業団地への給水開始により約3千万円の増収を見込むことができます。営業費用で、高額利子の企業債を繰上償還し借り替えている実績が、支払利息の減となります。

佐藤

文雄 議員



▲石岡斎場

Q 農林漁業の振興策を市政の基本にした新たな雇用創出の施策は

A 新規就農相談窓口を設け、就農に至るまでの支援をしている

Q 内需拡大の要として日本の農林水産業の再生を図ることが求められている。農業生産を増やすことはその地域の食品、サービス業、製造業を活発にする大きな波及効果がある。農産物の価格保障・所得補償によって、安心して再生できる農業にしていくことが新たな雇用創出になると考えるが。

Q 後期高齢者への人間ドック受診への助成について。

A 人間ドックは、病気の予防と早期発見のためであります。75歳以上の方を対象に同様な目的を持ったものとして健康診査を実施してはいますが、検査項目が異なる部分もあることから、市民の要望もあることから、これに沿って21年度から75歳以上の方を対象とした人間ドックの助成事業を実施してまいります。

A 市長 遊休農地の集約化に伴う規模拡大や農業体験などを通じ、新たな農業就労者の

増加なども期待しているところですが、農業振興により関連する地場産業の育成・発展にもつながる施策であり、国の政策転換や規制緩和などの動向を見ながら、農業再生を図るための「新たな農業モデル」として、具体的に展開できるように関係機関・関係者との協議等を踏まえ取り組んでいきたいと考えています。新規就農相談窓口を設け、相談、就農に至るまでの支援をしてまいります。

質問事項

1. 雇用を守り、地域経営を発展させるための施策について
2. 入札制度の改善について、特に談合を許さない、公正な入札の実現を図る施策について
3. 国民健康保険税の税率改定と税率引下げ策について
4. 後期高齢者医療制度に対する市独自の助成策について
5. 子育てしやすく、高齢者にやさしいまちづくりについて
6. 水道事業について、水道料金の値下げを実現するための施策を問う
7. 石岡地方斎場の移転建設の必要性と市民負担について

質問事項

1. 「湖山の宝発掘プロジェクト」の今後の展開について
2. 霞ヶ浦の象徴である「わかさぎ」増殖に向けた支援策について
3. 水道事業の今後の整備方針と水道事業会計の見通しについて
4. 職員数の動向に伴う行政組織のスリム化について
5. まちづくりを担う職員の育成について

平成20年度
第2回議員研修会

茨城県市議会議長会主催
平成21年2月5日(木)
於：ホテルレイクビュー水戸

加固議員、古川議員、井坂議員の3名が参加。水戸市消費生活センター所長：田山知賀子氏による「今日の消費者問題」、茨城大学教授：佐川泰弘氏による「地方自治の現状」の講演、意見交換会が行われました。

地方議会年金制度についての研修会

県南市議会議長会主催
平成21年2月26日(木)
於：土浦市民会館小ホール

年金制度の現況等を把握するため、県南10市の市議会議員を対象に、市議会議員共済会事務局長：立川久夫氏を講師に、研修会が行われました。

議会日誌 diary

2月	13日	議会運営委員会	
	19日	産業建設委員会	
	20日	新治地方広域事務組合定例会	
	24日	全員協議会 議会運営協議会	
26日	地方議会議員年金制度についての研修会		
	3~24日	第1回定例会	
3月	14日	大和田バイパス開通式典	
	15日	霞ヶ浦庁舎建設工事起工式	
	30日	総務委員会	
	3日	産業建設委員会	
4月	17日	県市議会議長会定例会	
	19日	かすみがうらマラソン	
	23日	関東市議会議長会定期総会	
	24日	茨城県市町村長・議会議長会議 産業建設委員会 議会だより編集特別委員会	
	5月	8日	総務委員会 文教厚生委員会 議会だより編集特別委員会
		12日	県南市議会議長会定例会



▲乗り合いタクシー

小松崎

誠議員

「定額給付金」支給について

早期支給に向けて円滑な事務執行に万全を期したい

Q 定額給付金制度について伺う。

A 給付金の総額は、対象者45,713人に対し、6億8,947万6千円を給付すると試算しております。3月27日から6ヶ月間申請受付を行う予定で、受付窓口については、両庁舎で対応していきたいと考えています。

Q 市長 景気後退下での生活者の不安に、きめ細かく対処するための緊急支援と併せ、家計に広く給付することにより、消費を促し景気を下支えする経済効果

A 市長公室長 「かすみがうらら市域域公共交通会議」を昨年10

を有するものとして交付されるものです。事業費、事務費とも全額が国庫補助金で賄われ、所期の目的が十分に達成できるよう、早期支給に向けて円滑な事務執行に万全を期したいと考えております。

Q 霞ヶ浦地区の路線バス廃止に伴う代替策として乗合いタクシーの導入に至った経緯を伺う。

A 今回の運行については、市全体の新たな交通システム導入までの暫定的な運行と位置付けており、霞ヶ浦地区で日常生活に直結する通勤、通学、通院で路線バスを利用されていた方を対象として導入した経過がございます。

質問事項

1. 定額給付金支給について
2. 乗合いタクシー運行について
3. やまゆり館など市の有料施設の利用について
4. 小中学校への携帯電話の持ち込みについて
5. 生活保護制度について

3月9日に行われた市長の平成21年度市政運営の所信と
主要施策の概要説明に対し質問がありました。

質疑 ごみの減量化や再資源化等の一助として「レジ袋削減」に向けた取り組みとは？

答 平成20年度は、マイバツクの無料配布、レジ袋削減運動に関するアンケートを実施し、積極的な参加呼びかけを行いました。平成21年度については、「マイバツク持参などの広報・啓発」、「事業者への協力依頼」、「地球温暖化対策及びごみ減量などの循環型社会の形成に向けた環境教育の推進」に取り組んでまいります。

質疑 上水道事業における給水区域の拡大と事業収益のアップについての年次計画は？

答 千代田地区において、土浦・千代田工業団地内の区域を平成17年3月、合併の事業認可の時点で、かすみがうら市の給水区域に設定したところです。平成21年度事業を初年度とする3カ年計画で、当該区域の事業所に給水するための配水管敷設工事を行い、平成24年4月からの給水開始を目指すものです。なお、この給水開始に伴い給水収益を試算しますと、約3,000万円程度増収になるものと見込まれます。

質疑 石岡地方斎場の移転建設について、合併特例債活用は市負担の削減になる保証はあるのか。また、徹底した経費の削減とは具体的に何か？

答 合併特例債については、合併後の市町村の一体性の確立や地域の均衡ある発展に資するために行う公共施設等の整備事業が対象となり、充当率95%で元利償還金の7割が普通交付税で措置されるものです。この支援制度については、合併特例法に定められた措置であり、保証されたものと認識しております。構成する市の財政状況が厳しいことを認識して、施設管理にあたっては保守点検や整備を徹底し維持管理費等を最小限に抑え、経費の削減に努めるよう求めます。

質疑 地域活性化・生活対策臨時交付金に有効活用による地域ニーズに応じた道路網の整備計画について

答 地域ニーズを元に事業計画を立てていた箇所の工事に充当予定です。インフラ整備を基本として地域活性化を図ることがねらいでもあり、道路整備にも有効に

活用したい考えです。また、生活道路等を計画的に進めるに当たっては、区長要望等により把握に努めているところです。

質疑 消防団の再編の計画づくりの目的と趣旨を問う

答 今日の災害や事故は複雑多様な傾向を強めており、市民の安心安全を守るため計画的な防災体制づくりと防災力の強化が求められています。当市の消防団は、車両及び詰所が老朽化し修繕等頻繁に実施していることから、更新整備が必要な状況にあります。小型動力ポンプ積載車を部の再編を行うことにより消防ポンプ自動車に変更し、適正な配置を行うとともに更なる消防力の強化を図るため、再編を進めるものです。

質疑 特定健康診査の受診率の実績と目標値の年次計画は？

答 平成20年度の受診者数は2,756名、受診率30・1%、目標値40%を下回る結果となりました。国においては、目標年次である平成24年度には受診率65%の達成を求めている、当市においても、周知の強化を図り、目標年次の

受診率達成に努力してまいります。

質疑 介護保険の各種給付と介護予防について、国の新しい要介護認定方式について問う

答 今回の制度改正では、本来の認定の手法については変更ありませんが、認定調査項目が現行の82項目から14項目除外され、新たに6項目の追加により74項目となるものです。さらに、一次判定について最新のデータにより検証された認定ソフトの改定が実施され、審査結果の精度が高まります。二次判定では認定審査会において要介護度の結果が示されますが、一次判定の変更は現行の4指標から3指標を除外し、「要介護認定等基準時間の行為の区分ごとの時間」のみに限定され、介護の時間を重点的に見るものになりました。今後は審査判定の平準化が期待できるものと考えます。

質疑 次世代育成支援地域行動計画の見直しは何時までを目標としているのか

答 次世代育成支援対策推進法の規定に基づき、当初の行動計画が平成22年をもって期間満了となることから見直しを行い、平成26年度までの5年間の行動計画を策定するものです。

質疑 放課後児童クラブについて、民間との整合性は図られているのか

答 民間児童クラブの開設については、障害を持つ児童の受け入れ及び開設時間の延長、地域において公設では対応できない4〜6年生の児童を受け入れる点で整合を図っています。利用者負担については公設では月額3,000円に対し、教材費等やお迎えと開設内容を踏まえ、月額7,000円となっております。

質疑 「ふるさと納税」制度により寄せられた積立金はどれ位か

答 2名、金額は合わせて120万円です。いずれも小中学校の図書購入費用に充て、教育分野の振興に役立てたいと考えています。

質疑 小中学校の適正規模・適正配置の検討の目標年次は。地域住民懇談会の予定は？

答 学区審議会の協力を得ながら検討しているところであり、目標年次としては平成21年度、22年度の2カ年と考えております。また、地域の皆さんの意向をアンケート調査により伺っておりますので、市の考え方が整理できた段階で、懇談の機会を設けたいと考えております。

質疑 B & G千代田海洋センターのプール修繕について

答 B & G財団との協議により、4分の1の助成を受けて改修が出来ることとなり、施設の適切な管理、利用者の安全を確保すると言う観点から進めるものです。

質疑 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業はどれ位の財政措置があるのか。年次計画として位置づけられているか

答 国の事業として、平成21年度から平成25年度までの事業であり、事業費の2分の1を補助します。市もこれらの事業に併せ、上乗せを行い、事業費の4分の1を補助します。134万5千円を当初予算として計上いたしました。

質疑 農作物の残留農薬検査の強化支援とは？

答 農協の部会や直売所で行う農作物の残留農薬検査に対し補助を行ってきました。この補助を継続し体制強化を図ってまいります。

質疑 地域農業の再生の新たな担い手づくりには価格・所得保障など農家経営が成り立つ農政の確立が第一だと考えるが、財政的支援はあるのか

答 県の農業改良普及センター等に支援をいただき、就農者に

対する助言等を行っています。就農計画書により農業経営全般に対する助言や資金を無利子で受けられる制度などを紹介、園芸産地総合整備事業補助金など、機械・施設等についても支援しております。

質疑 プレミアム付商品券の発行についての支援策とは何か

答 地域活性化・政策対策臨時交付金を財源として、市経済の活性化に即効性のある景気浮揚対策として実施するものです。商工振興事業の中に、「がんばる商店街支援事業補助金」2,500万円を計上いたしました。



質疑 地域の特性を活かした自主的な活動を行うグループ等の事例は

答 聴覚障害者や寝たきりの高齢者へのボランティア活動、読み聞かせや紙芝居のボランティア、霞ヶ浦帆引き船まつり実行委員会など、「かすみがうら市地域振興グループ」等育成補助金交付要項」に該当するグループ（団体）が補助金交付の対象となっております。地域づくり活動を支援しております。

質疑 霞ヶ浦庁舎の市民交流の拠点としての機能について、あじさい館の位置付けは？

答 庁舎としての機能のみでなく、新たな人々の交流拠点が強化されると考えるものであり、庁舎敷地内に設置予定の市民交流広場の活用が重要であると考えます。「あじさい館」については、総合コミュニケーションセンターとしての複合施設であり、広場はスポーツやレクリエーションに利用されています。複数の施設が1箇所に集まることで、お互いの機能が利便性を増幅し、利用する市民の方々にとって大きなメリットになると思われます。両施設の連携により、市民相互の交流拠点としての相乗効果を期待するものであります。

議会だより 編集特別委員会



委員長	小松崎	誠
副委員長	古橋	智樹
委員	井坂	悦司
委員	小座野	定信
委員	藤井	裕一



● 2月の臨時会において、委員会等の構成委員が改選になり、議会だより編集特別委員会も新たな委員でスタートいたしました。今後ともよろしくお願いいたします。

豆辞典

報告へ 審議の経過や結果について疑問があれば質疑を行う。
討論 議案について議員が賛成・反対の意見を述べる。
採決 出席議員の過半数により可否を決定する。

委員長報告 委員会での審査結果を本会議に報告する。

委員会審査 付託された議案を詳しく審議して、委員会として可否を決定する。

委員会付託 より詳しく審査するため、所管の委員会に審査を付託する。

質疑 疑 議案の内容について、疑問があれば提案者に質問する。

議案の説明 提案者が提出した議案の趣旨や内容について説明を行う。

議案の審査 議会での審査は、概ね次の順序で実施されます。

議会の審議



お知らせ

平成21年

第2回定例会市議会のお知らせ

第2回定例会市議会は、6月9日(火)から開会となります。会期日程については、お知らせ版に掲載いたします。議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも議会を傍聴してみたいかがでしょうか。

問い合わせ

詳しいことは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0299 (59) 2111 内線 1302

ホームページ <http://www.city.kasumigaura.ibaraki.jp/gikai/>

メールアドレス gikai@city.kasumigaura.ibaraki.jp

編集後記

1980年代に物心がついた私には、当時のイギリスでの長引く不況やアメリカでの事故係争の茶飯事化など、他国の他人事と想っていたものでしたが、やがて日本人が持っている優れた柔軟性は、和洋折衷、無国籍化、欧米化といった多種多様な波と共にバブル崩壊の波、さらには世界恐慌の波に吞まれ、今や私たちの国家観、まちづくり観を見出し難い世論に支配されてしまいました。これは即ち、社会全体がバブルの水に慣れすぎたために、急激な景気悪化の変化に破れかぶれとなり、我が身可愛さに次世代への愛情がなくなってしまうのではないのでしょうか。かつて好きな言葉として選ばれた「忍耐」や「努力」といった日本近代化の世相を反映してきた代名詞が今や死語となり、この世界的な景気の悪化がさらに拍車をかけ、不可抗力の世相を謳う「安心安全」という解放的な言葉がますます流行る近頃となりました。本来は、バブル崩壊後に掲げた国家と地方の財政を建て直す「忍耐や努力」が、私たちの子孫のために残すまじづくりにありました。しかし、今や恐ろしく「安心安全」の大型財政支出動は、かつての戦中のヤミ米を食べる状況に重ねることができているのではないのでしょうか。これは、忍耐できる体力もなく、己を生き長らえることが、次世代、子孫のためであるという精一杯の世事に解釈せざるを得ないものであります。今こそ「結果を見極める忍耐」と「物事を考え創る努力」の原点に返ることが不況の打開策でありましょう。加えて、これら喫緊の忍耐、努力すべき状況においても、他人の足を引っ張り不幸にいたらしめることで快樂に置換えるという社会の甲論乙駁の歪から生まれたこの悲しき性の自暴自棄を諫め、時には論ずこともまちづくりの不可欠な処方箋の一つであります。

議会だより編集委員 古橋智樹